

23/6/27（火）名古屋市議会総務環境委員会（前半）

名古屋市民オンブズマンによる、半自動文字起こしアプリによる文字起こし

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)： ただいまから総務環境委員会を開会いたします。初めに、6月19日の本会議において、常任委員の所属変更が行われ、北角義之委員が新たに当委員会の委員に選任されましたのでご報告申し上げます。

うかい春美(民主・中村区)： 委員長がご報告された件についてなんですけれども少し確認してもよろしいでしょうか。

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)： はいどうぞ。

うかい春美(民主・中村区)： 北角委員がこの総務環境委員会に入られたという、これ議長の指名でございますので、これを受け入れざるを得ないのではないかなとは思いますが、北角議員が先日ですね、経済水道委員会43年ぶりですか、流会となったというところでですね、委員長不信任の発端となる発言をただけでなく、後任委員長の会派内の調整につきましても、多大な時間を費やすというようなことなど、あの幹事長としての責任を果たしていないというふうに聞いております。

それから、その後の理事会でですね、今回の一連の混乱について自身に責任の一端があることを認めになった。

そのために、委員会開会前にけじめを示すように求められたということでございますけれども、その対応もしていないと伺っております。

それから、経済水道委員会で、その不信任動議が可決された田山委員長ですね、委員長は辞表を提出するとともにですね、各委員にお詫び文を出したと、送付したとそんなふうにも伺っております。一定のけじめを示されたというふうにお聞きしておりますけれども、北角委員は、この点についてどうされるおつもりなんでしょうか。

これから一緒に委員会審議を進めていくということにおいて、そういったことがきちんとされていない、対応がきちんとされていないという委員さんと一緒にですね、審議を進めていくということは難しいことだなというふうに思っておりますので、このままでは総務環境委員会を始めることができないのではないかなというふうに私は思うのですが、いかがでしょうか、確認をさせてください。

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)： 今鵜飼委員より何点か北角委員に関してご指摘があり、委員会をこのままちょっと始めることができないというちょっと非常に重たい言葉もいただきましたが、北角委員、鵜飼委員のお話についてお答えいただけますか。

北角嘉幸(減税・千種区)： 今ご指摘いただいた件でございますが、経済水道委員会の中でも、そのやりとりについて、いろんな見解もあり、その上でその議運の理事会を開いていただき、そこで今回こういうふうなことをご了解をされたとこういう経緯でございます。またその内容については今日この委員会終わり次第、理事会がございますので、そこでまた皆様と協議をさせていただきたいと思っております。

うかい春美(民主・中村区)： いろいろな見解があった、当然のことですよね。それで理事会を開いていただいてそこでいたしますって言って、今ここの総務環境委員になられまして総務環境委員会に所属したわけですね。それについてですね、この北角委員がきちんとした対応をそれぞれに取られていないということは大変問題であって、私どもが総務環境委員会一緒になって、この大切な大切な付議された審査、審議をやっていくというその場に一緒にいらっしゃって意見を言われても私どもはとでもですね、一緒になってやっていこうというそんな受け入れる気持ちにはならないわけですよ考えが、だからここできちんと北角委員は今、ここに総務環境委員に次長の推しご指名によって入られたわけですので、私ども総務環境委員は少なくとも私にはですね、今発言させていただいておりますが、しっかりとその対応について今後の対応についてきちんと言っていたきたいと、お話をさせていただきたいと、考えを述べていただきたいというふうに私は思いますが、いかがでしょうか。

北角嘉幸(減税・千種区)： 前回の議運の理事会でもですね、この次回の議運の理事会までにその答えを持ってくるようにということで今日その準備をしまっております。そちらの方ですね、またお話をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞご理解賜りますよう、よろしくお願いいたします。

ふじた和秀(自民・瑞穂区)： 北角さんは全く基本的な議会運営の基本的なところが全く理解されていないようなので少しお話をしますね。名古屋市会ってというのはね、俗称というか、そういう公式な正式な記録があるわけではないけど名古屋市議会というのは委員会主義って言われるぐらい、委員会、常任委員会に対してその重きを置いてるんですね。で、年度の途中で委員が変わるとというのは、会派の構成の中で、委員が変わるとというのはね、ほぼないんですよ。全くないとは言いませんけど、ということはそのある種の何かそういう議会の中の事情がないと委員が変わってことはないんですね。で今回その人が変わった。鵜飼さんがおっしゃりたいのはそこなんですね。ここには金城さんがいたんですよ。

で、金城さんが変わったわけだったとねそれ何で変わったかという、おそらく経水で手続きされてるんだらうけれど、田山さんが何だ、不信任決議を可決されて、委員を辞職されて、その後、委員の先ほど鵜飼さんちょっとおっしゃったけど、委員長さんのね次の後任がなかなか決まらず、そして紆余曲折の末、ここに見えた金城さんが途中で変わったわけだ。

ということは、あなたの発言とそれから幹事長としての調整に端を発して、きつい言い方をすれば、この総務環境委員会は非常に迷惑をこうむってるわけですね。

給食当番じゃないからね委員長は、なんでもいいっちゃうわけじゃないわけですよ。

で、それに対する責任をきちんと経済水道委員会の中でとってこられて、その上でここにおられるというなら、先ほど議長指名という話がありましたが、議長は機械的にそういった事情で委員会の入れ替えの申し入れがあったから、委員を入れ替えているわけで、だけどあなたは、先ほどからの午後の理事会ではっきりさせるとかこうおっしゃってるけど、そうじゃないんだ。

今この総務環境委員会で、それが物議を呼んでるわけですね、理事会など関係ないですよ。ましてや先ほどのうかいさんの話を伺っていると、私も幹事長から聞きましたが、そういう懸念があるよと、これちょっと何も説明がなかったら総務環境委員会ちょっとまともに開けないぞと、それ各会派がご心配になられてると思うんですね。

だからそういう話が各会の幹事長を通じてあなたの耳には元には入っておらずあらかじめ、だから委員会開会までにきちんとしてらっしゃいよと言われていた、はずなんだわ。

いや、そうなんだ。

ところが今のあなたの話を聞くと、理事会この後の理事会で話をします。

もうここで齟齬が起きてるんですね。経済水道委員会も一緒なんですよ。

あなたが言った言葉を言っていないと言って、言った言わないになっちゃって、本来の議題であるべき調査項目が紛糾をして進まなくなった。

で、それを委員長に裁定を求めたら委員長が適切な議事運営ができなかった。

だから不審任になって、今日に至っている。すなわちあなたがコロコロコロコロその場で言うことを変えていることが原因なんです。

もう一度言いますね、理事会ではっきりさせると言ったのはあなたはそれで言ってるけど、他の幹事長さんは、それ聞いてないんですよ。

総務環境委員会が始まるまでに、きちんとしかるべき責任の所在を明らかにしていただき、してもらいます、ということで我々はこの総務環境委員会前におそらく何らかの決着をするんだらうなと思っていました。

ところが何にもなしに、しれーとそこに座られて、また鵜飼さんが今お尋ねになったことに対して我々が聞いていることと違うことをまたここでお答えになられてる。

事実としては、理事会ではっきりさせるんじゃないですよ、委員会開会前までにあなたの責任の所在をはっきりさせるということだったんですよ。

また違うこと言ってる、経済水委員会もそうだった。

それはこれではね、委員会開けませんよ、我々は迷惑はこう思ってるんですから。

あなたが来たことで、本来は中川、金城さんだったんだから、何度も言いますよ。委員会主義だから給食当番じゃないんで、あんたたちの都合でね勝手にコロコロ変えられては困るんだ。

委員会の議論ってのは積み上げですから。その責任の所在はどうなんですかと鵜飼さんお尋ねになられてるんだと思いますよ。

しっかりと訂正するべきは訂正してお答えになられるべきだと思う。

睨みつけてないけど、じっと見てるなら見てるその眼力ぐらいのを発言してくださいよ、ちゃんと。

北角嘉幸(減税・千種区)： また、繰り返しの話になりますが、

ふじた和秀(自民・瑞穂区)： 繰り返しては困ります。繰り返しは困ります。また紛糾します。きちんと議論を前に進めてください。

北角嘉幸(減税・千種区)： 経済水道委員会の代表者会で決定されたことだと、それに従って行動をしております。

ふじた和秀(自民・瑞穂区)： 委員会の代表者会で決定したことなど何もないんですよ。委員会の代表者会で決まったことは、金城さんを委員長で推薦したいということが決まっただけなんです。

だから実際に委員長に金城さんになるかどうかは経済水道委員会が決めることだから、ここにそれを持ち込まれても困るわけだ。

言ってることが全く、だからあなた議会のルールをきちんと理解してませんねって言うんです冒頭に。にも関わらず幹事長やってるってのはもっと問題だけど、名古屋市議会の議会運営のいろはのいもわかってない人が、そこに座ってる。あの幹事長として座ると言うこと自体が問題なんだけどね、本来は。もうあなたが幹事長やっていることで議会が混乱してるって言われても致し方がない事態なんですよ今は。

でもう一回言いますね、経済水道委員会の代表者会議で決まったことだからというのはここでお話になられることじゃないんです。

そんなことは誰も言ってないんだ。

鵜飼さん言っていないよそんなこと、話をはぐらかさないでください。

鵜飼さんが言ってるのはあなたの発言が問題になって、委員長不信任案の動議が出され、可決され、委員長が交代という事態に至って、そしてここに座っていた金城さんが委員長になるからといって、あなた方が委員会の所属変更を申し出られた。

それは別に経済水道委員会で決定したことじゃなくてあなた方が決めたことだ。

間違えちゃいかん。

経済水道委員会で決まったのは後任の委員長どうしますかという話をやっただけであなた方が何かそれがその決定事項が総務環境まで波及するということになるところに経済水道委員長来てもらわなあかんぞ。

その後あなた方がその委員長なり委員を決めるという段階で、43年ぶりの委員会が流会するという、過去に極めて例の少ない減税日本が起こすときって常にそんなことばかりなんだけど、やったこと議会がそれもそこまではやらざるを得ないところにまで至るまであなた方はこの10数年、混乱をずっと続けてきてるんですね。

また今回もこれだ。

それに対して幹事長としての責任の所在を明らかにせずに、どうしてそこにあなたが座っておられるんですかとか鵜飼さんは聞いているわけです。

なら経済水道委員会の代表者会関係ありません。

理解できましたか。理解できたかできないかどちらですか。

北角嘉幸(減税・千種区)： いろんなこの交渉の経緯があり、その中でしょ。

ふじた和秀(自民・瑞穂区)： 私が言ったことが理解できたかできないかを聞いているんです。理解できましたか。

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)： ここは総務環境委員会ですので、経済水道委員会でも理事会ではありませんので、今のお話を、の中で、対応をください。

北角嘉幸(減税・千種区)： 興味どちらにしても前の経緯のことをお聞きでしょうか。

ふじた和秀(自民・瑞穂区)： あなたが何の責任も明らかにせずにそこに座っているということが問題になってるんです。

北角嘉幸(減税・千種区)： 今回のことについて責任の所在がどこにあるかということはその交渉の経緯もいろいろございますので、今つまびらかにこうだというふうに申し上げることができません。

ふじた和秀(自民・瑞穂区)： 私が、鵜飼さんが聞かれるべきかもしれんがね。

貴方が理事会で隣に幹事長さんもいるから私もはっきり言ってものが言えんけど、りこの委員会が開かれる前に理事会が開かれて、そこであなたは自分で私に責任があるというふうにおっしゃった。

で責任があるとおっしゃられるのなら、きちんと総務環境委員会が開かれる前までにね、一定の責任の所在は明らかにしなさいよというふうに3党の幹事長さんから言われた。

そしてそれはあなたを受け入れた。ところがこの委員会が開かれるまでに何もそうした発言もなければ、何も起きていないと何もしていないで、あなたは用意をしているという、それは委員会が終わった後の理事会でやりますという、いやそうじゃないでしょ、今の話は。違うでしょう。支離滅裂だと思いませんか。

自分が言っていることが、いろんなことがありますけれどじゃないんだよ。

もう一回言いますよ、あなたは何の責任の所在も明らかにせずにそこに座っているということが問題視されているんだから、ここであなたは自分の責任の所在は明らかにされるべきじゃないですか。

北角嘉幸(減税・千種区)： 事柄がですね簡単ではない、複雑な交渉過程がありますからそれについてですね、検証する必要があると。
などということですよ。

ふじた和秀(自民・瑞穂区)： だから、そんなこと聞いてないって言ってるじゃん。

なんて聞いてないことを理由に答えられないってなるの。

私達は、そんな鶴飼さんに聞いてることと、私が聞いていることは共通だと思うんだけど、責任の所在を明らかにしてから総務環境委員会でしかるべき、しかるべき措置をとられますという措置しかるべきなんっていうの。

どういう表現だね、事柄をきちんとさせてからちょっと表現が見つからないので、ね、それから委員会に臨みなさい、臨んでくださいよというふうに言われてたんでしょ、でも何もしてないじゃん。

今あんたがそこで言う話は、3党の幹事長さんに委員会開く前に理事会を開いてもらうように調整してもらう機会を作って、そこでおっしゃられるべきことでしょ。

でもやってないんだろ、それもやらずにきたんだろうここに、だからこうなってるんだよって。難しいこと言っていないよ。社会人としてやるべきことみたいな話だよこれ。

だからもう一回言いますよ。責任の所在を明らかにしてくださいと言われてるんだからどうされますかと聞いてるんです、私は。どうするんですか。

北角嘉幸(減税・千種区)： 今のこの場ではお答えができないんですが、そのしかるべく皆さんにまたお答えいたしたいと思います。。

副委員長 塚本つよし(民主・中区)： すいません。ちょっと副委員長の立場で。

最初これ、当局さんもいらっしゃって委員会運営というのは、それぞれ考え方が違う立場のあるんすよ、協力し合って議案を審議して1年間行くわけですね。

今北角委員がお座りになっている先は元々金城委員がいらっしゃって、金城委員と今いらっしゃる皆さんで1年間ね、いろんな審議をしていきたいと思いますということでは始まったわけですよ。

冒頭、鵜飼委員からもお話がありましたけれども、そもそもなぜ北角委員がそこに座ることになったかということは、人によってはいろいろ聞かれてる方もあるかもしれませんが、特に当局の皆さんも含めて、なぜそこに金城委員ではなくて北角委員が座ることになったのかということは知らないですね。

で、当然経済水道委員から細々としたことをここで詳らかにすることないこともあるかもしれませんが、少なくとも金城委員が北角委員に変わったことについては、簡単に言うと、好き勝手コロコロ委員変わることは当然できないし、なので誠意を持って私がこういうことでここに席に着くことになりましたと、当局の皆さん含めてこれからいろんな議論が当然ありますよね、重要な議論をしていかなければいけないので、その一つの北角委員の所信といえますか、なんか考えをここで明らかにされるべきだったタイミングを鵜飼委員がこうね、質問されたので、少なくともやっぱりなぜ、ご自身がそこに座ることになったのか、金城委員と変わるようになったのかというご説明は、どの程度あるかもしれませんが、そこはやっぱりお話された方がね、この委員会運営としても、当局の皆さんに対しても、そこは必要なことじゃないかなということをやっと私はちょっと感じてるので、そこは少しお話をされた方がいいんじゃないかなと思いますね。

近藤和博(公明・緑区)： 今様々委員の皆さんからのやりとりがあって、最終的に北角委員の方が一度考えてくるということなので、そこはぜひ考えてきていただければと思っております。加えて我々理事会で北角委員に対して、経水委員会の経緯を踏まえた上でね、責任の所在の確認を行わせていただきました。

その際に、委員長からありましたのは、今後、この理事会は本会が開かれる前でしたので、本会議や委員会運営も含めて支障をきたす恐れがあるので、それまでに速やかにご検討くださいとこういうお話をさせていただきました。これ事実の確認なんです。

その上で、加えて北野委員長の方からも、何度か北角委員の方にやりとりがあったと伺っております、本日を迎えている。それなのに先ほどの北角委員の発言は、いやこの後の理事会で確認をさせていただきます。それは責任を逃れている発言だと私は思いますよ。

本来であれば今委員がおっしゃっておられたように、自らの責任でそうなったのであれば、自らが委員長に、そこは理事会を開いていただけませんかかなり打診をして、片付けてからこの場に臨んでくるというのが本来の私はあのスタンスだと思います。

今委員の皆さんから様々ご意見いただきまして、その上で一度考えてくるということなので、北角委員がその考え方を皆さんにご納得いただけるように披露していただかないと、この総務環境委員会進まないと思いますので、その検討を進めてください。

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)： 今各委員から縷々お話ありましたように、北角委員におかれましては、一度各委員の皆さんがご納得いただける話をですねしていただきたいなと思いますけども。

北角嘉幸(減税・千種区)： 副委員長の方からお話がありました経緯について、少し説明した方がいいのではないかというふうなお話がありましたから、お話申し上げたいと思うんですが。

私の発言のときにですね、その次にいろいろ議論があって、その後委員長の不信任動議が出てこれが可決をされたと。

でそれで委員長が即辞職のご意向を出され、そして代表者会でいろんな話になったと。

そういう中で最終的には我々としたら、先ほどおっしゃられたように、その委員会に所属しているそのメンバーが代わりに出るということを申し上げておったんですが、なかなか皆さんの理解が得られなくて、他のメンバーを出してほしいとこんな要請があったところでもあります。

そうしますと、私共としたらそれはその部分を最終的には受け入れをして、それでやはり経験がえられる方ということで我々としてはこの金城委員とこういうことになりこれを皆さんの方で議運の理事会を通してそれで納得をしていただき、ご理解をしていただき、今回のこういうことになったと、経緯とすれば、そういうことであります。

それについてのその責任の所在ということではありますが、やはり交渉が2日間になってるもんですから、そういう中でどういう問題があるかと、やはりその部分についてはその責任の所在について我々の方とそれから他会派の方では少し意見の相違があるのではないかと。私もこの時間を使ってですねこの整理をしまいましたが、今の段階ではその部分について、また皆さんと協議をさせていただきたいということで今現在を迎えております。

近藤 和博(公明・緑区)： ちょっと私納得いかないのは、北角さんは、我々の理事会の際に2点、責任を確認させていただいたと思います。

一点目は、今回の経水における委員長不信任動議が出されるに至った経緯について確認しましたね。そのときに北角さんは、経緯はそういうことでありますとお認めになられてたじゃないですか。そのことに対する責任を果たしてないと言ってるんですよ。

もう一点の責任は、調整が不調になり流会に至った。交渉の内容をここで問うてるわけではないんです。

鵜飼先生も言われてるように幹事長としての責任をどう果たすんですかということを問われているので、そこに対する回答がないと他の委員もおっしゃっておられるんですよ。

ふじた和秀(自民・瑞穂区)： あなたが一番大事などこの詳細に説明するって言って、もういつもそういうふうだねあなたは。一番大事なところ言わないんだなあ、なんて皆さんに理解されなかったの後任の委員長は。聞いてますよ。

北角嘉幸(減税・千種区)： その交渉の過程ですので、私があそこに入ったわけではありませんが1年生だとそれは委員会の委員会をなんていいますかそのを進行をするのに、簡単に言えば、あんまりふさわしくないだろうと、そういう意見があったように聞いております。

ふじた和秀(自民・瑞穂区)： 意見があったと聞いておりましたがそんなこと誰が聞いたってそうでしょう。

やれっこないよ、1年生で。まだこの4月に当選したばかりの人が委員長なんてやれないよ。前にやってもらったら、もうえらいことになった。

ようわかつとることはそりゃまあ、そんなことがそう理解されなかったんじゃないかもっとそもそもそんな委員長を出すからそういうことになるでしょう。

そもそも論だ。理解されなかったとか言うんですけどすごい言葉が綺麗だけど、そうじゃないでしょう。

2日間かかりました。速やかに出すべきでしょう。他会派の納得のできる委員長を。

あいつが好きでこいつが嫌いだって言ってるわけじゃないから。きちんと議会運営をしていただけるその委員会の運営するに支障のない人を出してもらうというのは当たり前のことでしょう。

ましてやあなたの発言で委員長が交代したんだから、何だったんですか。あなた幹事長としての責任としてやるべきでしょ。代表者会には出てませんからよくわかりません。

だけど代表者会の決定事項ですって、もう全く言ってることおかしいじゃん。

とにかく自分に火の粉が被らないように、被らないように一生懸命喋ってるっていうのしか私が聞こえないね。

何よりもだから一期生を出したということが一番の問題なんじゃないの。

だからこういう事態に至ったんじゃないですか。

金城さんてたら金城さんじゃいかんって言ったのみんなが言わなかったでしょ。

それだけのことじゃない。

なんでその手続きが速やかにやらなかったかっていうことを言われて問われてるんじゃないんですか、違いますか。それは幹事長の責任だよな。

北角嘉幸(減税・千種区)： いろんな経緯はあるでしょうけど、

ふじた和秀(自民・瑞穂区)： きちんと私の質問に答えてもらってくださいね。それは幹事長の責任だよなって聞きましたからね。

違うことを言われてね昨日の本会議みたいに、辻褄のあわないですね、それで悪戯に時間がすぎるの、そういうのちょっと委員長やめやめてくださいね、質問に即しきってくださいね。私の聞いたことについて答えてもらってください。

北角嘉幸(減税・千種区)： 先ほどお尋ねがありました金城議員でそれぞれ皆さん反対されませんでしたねというふうなお問い合わせもありましたが、そこはいろんな条件がついておりましたが、反対をされました。

ふじた和秀(自民・瑞穂区)： あの大事なところはそこじゃないでしょ今。
大事なことそこじゃないでしょ。じゃいいですわ。
面倒くさいから、あの反対があったということなら私の言った反対はなかったでしょって
いう発言は訂正します。そこはいいです。
論ずる論点じゃありませんから、そういった一連の混乱は幹事長の責任ですよって私は聞
いてるんですけど、金城さんが賛成だったか反対だったかなんて聞いてないですよ。
そこは訂正した上でもう1回聞きます。もう二度も三度もやらせないでね。
それは幹事長の責任じゃないですか。

北角嘉幸(減税・千種区)： お互い相手があつての交渉ですから、それが私の全ての責任だ
ということではないんだと思います。

(ちょっとこれなんともならんな。)

近藤和博(公明・緑区)： これ委員長、委員会進まないよ。
こんなことやってたらあのね、経済水道委員会も一緒だったんだわ。
これは私の感想として申し上げてるけど、要は、経水の話を含め、ここでやるという意味じゃ
ありません。もうこういう事態になったから事実を明らかにしておきますが、北角さんこう
言われたんですね。
「今おっしゃられた検証委員会。これ名古屋城のあの例の差別発言の件ですが、今おっしゃ
られた検証委員会、いつぐらいまでに終わるつもりですか。
これ1年以上遅れるとどれぐらい費用がかさむんですか。
そういうことであれば、やはりこの検証委員会というのはできるだけ速やかに立ち上げて」
その後何だったかな。もう1個なんか肝の話ありましたが、今ちょっと時間もった
いから探せませんが要は、何を言ってるかっていうと、そのお金の話と本件の話一緒に
しちゃ遺憾よというようなやりとりがあって、その後に私はお金のこと言ってませんみたい
な言って、言ってますがお金取ること言ったかなって言ったならあれだけど、そんな今のあの
発言の内容をどうこう言うわけではありません。今と一緒にんだわ。
言った言わん、言った言わんという話になって委員会が紛糾した。私も聞いてれば明らかに
言ってるわけですよ。
そのもう言葉を使ったかどうかということは別としてね、趣旨として言ってるわけですよ。
言ってるのにそれは後からあたかも言っていないようなことを仰られて、それが言った言わ
ないの間で委員会委員の中で紛糾をしてね、でそれを最終的に仕切りきれなかった田山さん
が不信任の動議が出て可決して委員長を辞任をしたと、辞職を出したという。辞表願いを
出したと。北角さんあなたのはずそのときの発言すらまだ総括されてないんです今。

それはここでやるべきかどうかわかりませんが、言った言わないの話がまず総括されていないんですよ。経済水道委員会においても、代表者会においても。それは間違いのない事実だと思う。その上で、委員長さんが変わられた。

金城さん、賛成とか反対とかなんかムキになっていってるけどそんなことはどっちでもよくて、ね、最終的に金城さんがということになったからこういう事態に至った。

だけどそのことに対して発言者として、そしてもう一つは幹事長として、何も責任の所在を明らかにしてないから幹事長さん方がきちんと委員会までにそここのところ皆さんご納得の総務関係が納得いただけるように、してらっしゃいよ、端的にはそういう話で過日終わっていた。ところがこの委員会が開かれるまで先ほどの話、この後の理事会でやりますからここではやりませんってそんなこと誰も言ってないわけだ。

でこういうことがずっと繰り返されている。

だから先ほど幹事長の責任ですよって言ったらまた違うことを答える。

だからこれではね、そりゃ無理だわ。きちんと理解していただかないとまず、ね。

私がちょっと申し上げたいことは感想という私の意見だけ申し上げておりますね。

これは無理だ。

あの全然その論点の真髓のところには全然届かないもん、話が違うことばかり言って。これもちょっと本当にきちんとしていただかないとそれはね。しゃあない、これでこれぼちぼちやるかっていうことにはなかなかならないと思うよ、今までの前例を考えても。ごめんね、近藤さん止めちゃって、私から申し上げたいことは以上です。

うかい春美（民主・中村区）： 先ほどのあの説明のところから、ちょっと時間経っていろいろ皆さんのご意見あったんですけれども、説明をするとか、答えるのにもご自分のところをいつも飛ばしていらっしゃるなっていうのを思うんですよ。

先ほどもおっしゃってみえたんですけど、流会となった。また、委員長不信任の発端となったのは北角委員さんの発言から始まって、それに端を発してる、その責任は大きいと思うんですよ。話されたのが田山委員長の不信任のことから始まっていますけども、その元になったところはどこにあるかをご自分できちんと認識してらっしゃらないんじゃないかなと思うんですね。そういった方がまた今度幹事長として理事会でされた。当然委員会始まって、こっちに変わっていらっしゃるわけだから、それまでに責任の所在をきちんと自分で把握して責任を取る行動をされるべきだと思うんですね。それがなされていないので先ほどのねおっしゃったような理事会が、この後の理事会でって、委員会はもう動いているので、そのところで、ちゃんとやっていただかないと、委員会の話し合いなんかできないじゃないですか、皆さんもそう言ってみえましたね。

委員会、総務環境委員会きちっとした審議できないですよ、きちんと今からご自分の最初から考えていただいて、ご自分の責任がどこにあるのか。

そして自分はどういう行動をとるべきなのか、今から対応していただきたい、考えていただきたいと要望します。

ふじた和秀(自民・瑞穂区)： 全然あることを説明してくださいと、塚本副委員長がおっしゃられたけど、全然幹になるところはね、おっしゃられずねなんか人が聞いてるとそうか、何か北角さん一生懸命やってだと聞こえるようなことしかおっしゃられないからこの際、今ちょっと団長さんにも相談しましたけど、あんたの経済水道委員会にはね田山さんからこういう詫び文が出てます。「今般、名古屋城バリアフリーに関する市民討論会について経済水道委員会長としての対応および委員会の責任に大変不十分なところがあったことから不信任動議が可決され、私は委員長を辞職いたしました。またその後委員長方法の選定に向けた協議において、他会派の理解を得ることができず委員会が流会となってしまいました。この一連の事態を生じさせた責任を深く反省すると共に皆様にお詫び申し上げます。」

こういうのが田山さんから出てるんですね。北角さんから何もないらしいですよ。うん結局今話をやりだすとこういうことの多分理事会も繰り返しなんでしょう。田山さん全部悪いっていうことになってるんだね、減税日本ではきっとね。

だけどそれは減税日本さんはそれで別に。そんな他会派のことはかまいませんが、私ども。我々としてはね総務環境にそれでこの人來られてもね、昔同じようなことありましたね。ブロック塀のなんか違法建築か何かのときに、朝突然、委員会も開かれる前に今と同じような感じですよ、その当時の当該の浅井委員長、副院長さんが、当然私は責任を取って委員長辞職しますと、担当委員長鶴飼さんだったけど、鶴飼さん直前に言われてね、びっくりして辞職しますとおっしゃられたった。おいおいちょっと待ってと、委員長やめるのはあんた一人やめると言ってもやめるれんのだと、私今でもよく覚えています。

そうじゃなくて、そもそもあなたがここにいることはふさわしくないよ。

そんなやりとりをやった覚えがあります。そしたらその時あの人あの副委員長だけど委員を辞職になって、違う委員会行かれた。

委員会のことは私から申し上げませんがね、その時違う委員会行って、そこでも今これと一緒に話ですよ。何もけじめつけとらんがやあんたはと。あの人ね、出てこなくなっちゃった。改選前の2月定例会だったかな。予算審議全部欠席。本会も欠席でしたっけねちょっと本会議も欠席。意思決定も欠席ね。で、そのまま統一地方選いった。

議会人として、委員会に出てくるなと言われたぐらいに思ってたでしょ本人は。そのことを言っていないのに、そういうこともあったんです。

だから今もそれと同等とは言いませんよ、同等とは言いませんが、当然この議会の混乱、そして総務環境に対してこれだけ、皆さんに不信感を持たれてるということについては、やっぱりきちんとその責任の所在は明らかにされるべきじゃないですか。

もう私はもうとりあえず意見だけにしときますわ。

ちょっとこれどうするの。こんなどうするの、いつまでも私らもねこんなね売り言葉に買い言葉のこの人にいつまでも付き合ってこんなこと、こんな不毛な議論をね、うなずいてる場合じゃないってあなたとこの会派のことなんだから、しっかりしてくれろ。

本当に他人事みたいにならずにいるけど、これちょっとこのまず

ま進んでいかないですよちょっと。

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)： 北角委員に申し上げますけれども、各委員の方から今これ、委員会が議案に入ることもできずですね、非常に由々しき事態になっておりまして、北角委員の方のお答え今もしてできないようであれば、しっかりとしたお答えを皆さんの前でお示しをいただきたいと思っておりますけども。

田口一登(共産・天白区)： うちの会派は経済水道委員会の委員が出てませんし、理事会にも理事は出せませんのでこの間の経緯について全く承知してないんですね。

委員の交代は、あの議長からのね議会広報で知ったんですけど、その経緯も全く知らさせられてない。

全く知らせてない中で、今日は初めての委員会で委員が交代したという件についてね、きちんとした説明が北角委員からあるだろうと思っていました。

ところが今のやりとりを聞いていて、ますますわからなくなると、わからなくなったというのは、経済水道委員会のこの間のやりとりはね私もネットで聞いてたんでその委員長不信任に至ったきっかけ、原因は北角さんの発言と、これはもう私もはっきりそこは認識してます。それについて、それ以降は何があった、それ以降の経過は全くわからないんですけど、やっぱりそういう責任問題についてね、先ほどのやりとりを聞いてると、北角さんは責任の所在はね他の会派と整理が違うと言って、自分の考えと他の理事会でのね3会派の皆さんと違うんだと、こう言ってらっしゃるし、ですまた他の3会派の皆さんからはね、ちゃんとけじめをつけてくるようにと委員会が始まる前にと、だからこんな状況でね、これでは全く委員会の審議これから、あなたと一緒にあって当局に対して真摯に議論していくというふうになりません、こんな状況では。やっぱりそれはちゃんと責任をはっきりさせてもらわないと一緒に委員会の同じ委員としてね、やっていけないと。これやっぱり聞いててね、そう思ったんで、ちょっと一言私の意見を申し上げておきたいと思えます。

横井利明(自民・南区)： 隣で聞いている中川さん。

皆さん言っていることを理解されたかな。

はいじゃない、委員長ちゃんとあてて。

中川あつし(減税・中川区)： はい、理解しております。

横井利明(自民・南区)： 中川さん悪いけど、北角さんちょっとやっぱり理解できないみたいなんだ。あなた今からちょっと説得きちんとしてくれる責任あると思うんだけど同じ会派として、やってもらえるかな。

中川あつし(減税・中川区)： 説明をさせていただきますし、皆さんがご了承、委員長のご了承がいただけるのであれば、暫時休憩を求めて説明を、北角さんにご理解を求めたいと思います。

横井利明(自民・南区)： 今言った発言は重いよ。
あなた責任持ってやってきてね。委員長、じゃこの際、暫時休憩されんことの動議を提出いたします。

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)： それでは横井委員から今、暫時休憩の動議が出ましたけども、よろしいでしょう。
それでは暫時休憩といたしたいと思いますので、ぜひとも速やかに

ふじた和秀(自民・瑞穂区)： 結構ですけど、あの決着をしてね、きちんと議案の審議に入れるという状況で、当局には出席を求めた方がいいと思います。
またこんなはずらの話にね、ずっと局長さん方貴重な私どものね、あの大切な職員さんたちを、名古屋市さんの大切な職員さん、こんなくだらん議論に付き合わせてとってはいかんと思うので、下らんというのは私達が言ってることなんじゃなくて、もう全然そういうことをきちんとやっていこうということがくだらんということ言ってるんですよ。
その上で当局の出席は少し正副委員長さんで、そのやり方ご配慮いただいた方がいいと思いますので、ずっと拘束されとってても気の毒だと思しますので。
よろしくをお願いします。
いろいろ判断でいいからは終わりました。

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)： それでは今のお話ございましたように、中川委員、北角委員には次お答え持ってきていただいて、速やかに議案審議に入れるような形になる答えをお待ちしておりますし、正副でまた今後の進め方についても預らせていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、暫時休憩といたしたいと思います。

(再開せず)